

川甚の記録保存について

1 保存の目的

川甚の重要な構成要素としての特徴として捉えられる3つの「場」を示す諸資料を記録保存し、文化資源を活用した観光まちづくりや観光PRの素材として活用する。

- (1) 葛飾柴又の玄関口としての「場」
- (2) 川の眺望を意識したもてなしの「場」
- (3) 葛飾柴又ならではの食文化を支えた「場」

2 保存の視点

川魚料亭「川甚」の生業及び観光史的な視点で記録化を行う。

- (視点1) 東京の川魚料理
- (視点2) 葛飾柴又及び江戸・東京東郊の観光
- (視点3) 江戸川流域の歴史と文化の諸相（特質）

3 保存項目

- (1) 歴史的・文化的資料の目録化と保存

図面類／写真類／営業関係（パンフレット・帳簿類等）／調度品／
上記以外の美術品／その他関係資料

- (2) 現況図の制作

既存の竣工図を基に、その後の改修等の状況を確認するとともに、閉店時の本館の各フロアの利用状況を聞き取り等で確認し、竣工後の空間利用の変遷を記録化する。

- (3) 3Dデジタルデータ化

3次元計測による撮影や3Dモデルを制作し、様々な角度から川甚本館を可視できるようにする。

- (4) ドローンによる空撮及び動画撮影

ドローンによって上空から本館をはじめとする川甚の様子、江戸川や柴又地域での位置関係などを映像として記録化する。建物内の座敷や屋上からの眺望も動画として撮影し映像として記録化する。

4 その他

この地で営まれてきた川魚料理の歴史を象徴するものとして、本館の裏手にあった「生簀」が保存される予定。